

○事業所名	社会福祉法人 ひまわりデイサービス			
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 19日		～	令和 7年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 19日		～	令和 7年 3月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【適切な支援の提供】 ・こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援。 ・こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」等の計画作成。 ・保護者からの満足度。	・ミーティングで必ず打ち合わせ支援内容、分担や配置等について話し合いをし、当日または翌日にはフィードバックを行って情報共有しています。 ・保護者様からお聞きしたニーズ等やガイドラインを踏まえた将来的に必要な事を盛り込みつつ、計画を作成し、記載しています。	・より専門的な内容のアセスメントを行い、そのための研修や専門的なアドバイスを取り入れていきたいです。 ・長期休みのようなお預かり時間が長い日が続くと、話し合う時間がとづらい時もあり、なるべく内容の確認や連携して役割分担をする時間を確保していきます。 ・専門的支援加算を来年度から取り入れるにあたって、計画書にそれらの記載を必ずしていきます。
2	【業務改善】 ・業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画し、職員の意見等を把握する機会を設けている。 ・職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保している。	・日々ミーティングや支援会議を行い、支援や振り返りまた業務などについて各自に意見を出してもらい、業務改善に繋げています。 ・法人全体で策定し、虐待防止等の児童の支援に必要と思われる内容の内部研修を行っています。	・職員の支援に対する理解をより深めていくために、専門的な研修や外部研修の参加を今後も行っていきます。
3	【非常時の対応】 ・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、発生を想定した訓練を実施している。 ・事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を職員全体が共有するとともに、ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に努めている。	法人全体で研修の計画を定めており、その項目には、図上訓練・机上訓練の研修とともに、定期的に避難訓練等を実施している。また、契約時に、事業所の側の義務の第一項目として、利用者の生命、身体、財産の安全・確保に配慮するとともに、非常災害対策ならびに衛生管理等に必要な措置を行う事を説明しています。 ・ヒヤリハット報告書、事故報告書等を作成し、再発防止に努めています。また、法人全体で共有し、他部署の移行の際に引継ぎが出来るようにしています。	・保護者様に対して、伝わりづらいまたは分かりづらい所があるのか、アンケートでの同意が多くありません。訓練の様子をお伝えするとともに、必要に応じて、計画についてご説明できるように対応していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【環境・体制】 ・職員の配置数は適切であるか。 ・こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	・基準に必要な人員やスペースは確保していますが、多様なニーズに全てお応えできる体制、重度の緊急時対応体制に今後の課題があると考えております。	・多様なニーズにより、ご利用をお断りをせざるをえない時があり、保護者の皆様には大変申し訳なさを感じております。今後も多様なニーズにお応えできるよう検討を行っています。 ・出来るだけ敷地内を活用し、楽しく穏やかに活動できる空間を確保できるように工夫してまいります。
2	【保護者交流・支援】 ・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。 ・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	・家族支援としては、送迎時やお電話連絡の際に近況を確認し、その際のお話や相談に応じて、面談や助言、担当者会議等を実施することで支援としていますが、ペアレントトレーニングまでは出来ていないです。 ・感染症の流行への配慮や過去のアンケートで開催に否定的な意見もあったため実施できていません。	・情報の提供を出来るよう配慮しつつ、職員がペアレントトレーニングを行えるような知識や技術を持てるように成長していけるよう取り組んでいます。 ・感染症の流行や保護者様が集まりやすいスケジュール調整が今後の課題です。
3	【地域交流】 ・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 ・事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	・学童保育等の交流は、管理している役所との手続きや事前の打ち合わせ等が難しいため、実施できていません。また、感染症の流行への配慮も懸念となっています。	・感染症の流行や、地域の障害福祉への理解の壁が今後の課題です。